

実り多き宿泊訓練！



先月、5年生の2泊3日の宿泊訓練で観音山少年自然の家に行きました。観音山入口から徒歩で急な坂道を登っていきませんが、子どもたちは「これくらいの坂なんか平気だよ」と言わんばかりの元気な足取りで歩き始めました。しかし、そこは30分続く登り坂、次第に口数も減り、重い荷物が肩に食い込みはじめ、額からは汗がぽたぽた……。この苦しい思いで登った坂が、帰るときには「夢の坂」になるのです。

この宿泊訓練の目的は、「自然の中で様々な野外活動を体験することを通して、自分で考え、判断し、行動する力を高める。」「集団生活の中で、集団や班の仲間と協力して生活することを通して、相手を思いやり、行動することを体験する。」です。

秋の自然を自分の目で確かめ、山頂登山、ナイトウォークラリー、冒険ラリー、キャンプファイヤー、沢登り等の野外活動に苦しくても休まず参加する中で、自分自身の心や体力を鍛えられました。そして、集団での生活の中で友達の良さ、優しさを再確認しました。子どもたちにとってこの宿泊訓練は、まさに心身を鍛える訓練の場になったと確信しています。山頂に向かって弱音をはかずに登るたくましさ、体調の悪い友達を気遣いながら歩調を合わせて歩いていた優しさ、迷子になっても友達と協力しながらコースを見つけて歩いた賢さ、さらには、食事や入浴時、就寝時に見せた規律を守る姿勢等、この3日間で見せた子どもたちの頑張りに拍手を送りたいと思います。

観音山のプレイホールにこんな言葉が書いてありました。



見つけてください。大自然のすばらしさを感じてください。友と力を合わせることの大切さを感じてください。自分のよさに

はじめて親元を離れて生活した2泊3日の宿泊訓練、子どもたちの心にいつまでも残る行事となったことでしょう。